

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790400477		
法人名	有限会社しらゆり		
事業所名	グループホームしおさい風の詩		
所在地	いわき市久之浜町西2丁目7-8		
自己評価作成日		評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉ネットワーク
所在地	〒974-8232 福島県いわき市錦町大島2番地
訪問調査日	令和2年10月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

常に寄り添い、共に生活している意識で支援に取り組んでいる。
小規模施設ならではのきめ細かなサービスで、個々のニーズにこたえながら信頼関係を築いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者は職員の意見や提案を聞き取り入れ、利用者がその人らしく過ごせるよう、職員が働きやすいようにし、ケアの質の向上につなげている。
地域の行事への参加 や事業所での認知症カフェの開催など、利用者と地域の方が交流する機会を多くもち、日頃の近所づきあいや災害時の協力体制などを充実させ、利用者が地域とつながりながら安心して穏やかに暮らせるようにしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	出勤時に事務所に掲げてある基本理念を確認し、再認識したうえで勤務している。	事業所開設時に管理者と職員で作成した理念をもとに、利用者が自分らしく生活できるように支援をしている。職員は優しい気持ちをもってケアを行い、利用者が安心してゆったりとすごせるようにしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	毎年、地域の行事に参加している(お祭り、防災訓練等) ホームの行事にも地域の方を招待している。	地域の行事に積極的に参加して、お花見の時期にはお誘いをうけるなど、近隣の方と交流を深めている。地域の子供たちに認知症を理解してもらうため、小学校で行われる認知症教室に協力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェに参加協力したり、中地域ケア会議のメンバーとして活動している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動報告について幅広い意見やアドバイスをいただき実践に繋げている。	区長からの情報をもとに予定をたて、地域の行事に積極的に参加している。市の担当者から利用者の入居前の特技を聞いて利用者との会話のきっかけにするなど、話し合ったことをケアに反映している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	年6回の運営推進会議には必ず参加していただき、様々な意見交換の中で協力体制を築いている。	定期的に市の担当者と連絡をとり、介護認定の更新や変更について等必要に応じて相談をしている。運営推進会議を通して事業所の実情を知ってもらい、利用者に関する情報や助言をもらってケアに活かしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議の時等に、自分が気づかないうちに虐待につながる行為をしていないか話し合いをしている。 夜間帯を除いてはなるべく施錠しないようにしている。	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。職員に気になる言動があった場合には、申し送り等で情報を共有して、拘束につながらないように努めている。ひとり歩きの方は職員が見守り、拘束することなく安全にすごせるようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議等で勉強する機会を設けている。 入浴時にボディチェックをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度の仕組みを理解し、状況に応じてアドバイスできるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に十分に説明し、理解同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見・ご要望箱を設けて、遠慮なく苦情も含めて要望が出せるようにしている。 密にコミュニケーションを取り、ご意見をいただけるよう配慮している。	利用者や家族が意見・要望を言える工夫をし、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。出された意見・要望は、管理者と職員で話し合い、運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	夜勤時などにゆっくりと話せる時間を作って、意見を聞いている。 仕事のマニュアル等その都度変更できるように柔軟に対応している。	職員の意見や要望を聞く機会を持ったり、話しやすくするなど工夫している。勤務体制・資格取得・待遇について要望があり、受け入れ、シフトの調整・費用助成・時給のアップするなど、働きやすくし、職員の質の向上につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	役職や責任のある仕事を任せることで、手当として支給している。 スキルアップの為の支援等の環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得のためのシフト変更や、助成金を設けている。 外部の研修会にも参加させている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームの見学や、地域の介護施設の職員との情報交換もしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前にご家庭を訪問し、じっくりとお話を伺い、いろいろな提案をさせていただく。 安心して入所できるよう対応している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の負担を少しでも軽減できるよう、じっくりとお話を伺い提案をさせていただく。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実調に伺ったとき、家庭環境も含め、本人や家族の要望にどのようなサービスができるか十分に話し合いをする。 場合によっては、他のサービスの利用も提案させていただく。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームでの生活の中で、できる範囲での協力を求め、役割を持つこと、で共に助け合いながら生活している意識を持てるように配慮している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度は、必ず利用料の支払いを兼ねて面会していただく。行事への参加もしてもらい、共に支えあう立場を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人の面会等、ゆっくりと過ごせるよう配慮している。 予約制ですが、一緒に食事が出来るようご家族への食事の提供もしている。	これまでの人間関係や地域との関係を把握し、要望に応えるようにしている。馴染みの美容室へ送迎したり、買い物や外食の要望を受け入れ、行きたい場所へ行けるようにしている。コロナ感染前は、面会時に居室でゆっくり過ごして貰っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士でも助け合えるような関係性を大事にしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も、時折訪問や面会に行き、ご家族へのアドバイス等させていただいている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の生活歴や環境等、十分に理解し、介護計画に取り入れている。	日々のかかわりの中で、利用者との関係性を密にすることで、会話から、ことば・行動・表情から汲み取り、思いを把握するようにしている。困難な方には、どんなことに楽しそうに取り組んでいるかを見ながら把握し、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や以前利用していた介護サービスの方と連絡を取り、どのような環境で生活していたかを理解し、今後の介護計画に繋げていく。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員が常に寄り添うことで、一人ひとりの生活のペースをつかみ、無理強いせず、リラックスして過ごせるよう配慮している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議で個別のケアを話し合い、またモニタリングを通して計画の変更に繋げている。	利用者・家族・関係者と話し合い、利用者が地域でその人らしく暮らせるよう、必要な支援を考え介護計画を作成している。日常生活動作の低下や、認知症状の変化が見られたときに、職員会議で話し合い、家族に伝え見直しを共有している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録の様式等を工夫し、書きやすく見やすくしている。 職員会議で、情報の共有が十分か確認している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の負担を軽減できるよう取り組んでいる。 病院付き添い(一部有料)や買い物代行等。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事や活動に積極的に取り組んでいる。町内の商店に買い物に行ったり、外食を楽しんでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通常は往診で対応しているが、治療方針や服薬が変更になるときは、本人や家族に連絡し、同意を得てから治療に当たってもらっている。	本人や家族が希望するかかりつけ医で医療がうけられるよう支援している。家族の付き添いで受診する場合にも、必要に応じて、職員が同行して説明をしたり、車椅子利用時の送迎をしたりして受診に協力している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診や受診の際に、適切に医師に状態を伝えられるよう、事前に準備している。医療機関との連絡記録を記入し、職員が情報を共有できるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関に任せてはいるが、どのような状況にも対応できるよう、医療機関との関係を密にしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族が不安にならないよう、ADLや病気の進行に伴い、当ホームで対応できなくなった場合、またそうなる可能性が出てきた段階、で家族と相談しながらできるだけ希望に添った方法での対策を検討する。	主治医の協力・指導のもとで看取りを行うこともあり、家族と協力して、利用者が穏やかにすごせるようにしている。重度化し、医療が必要な場合にも、医師と相談しながら入院先を探すなどして、利用者や家族に安心してもらえるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルの作成や訓練をしている。職員のほとんどが、普通救命講習修了を取得している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内だけではなく、地区の防災訓練にも参加している。また地区の自主防災会との合同練習もしている。	昨年の台風を教訓にして、飲用水、保存食等を確保して災害に備えている。地域の自主防災会と協力体制を築いていて、合同訓練を通して事業所の現状を知ってもらい、避難が必要な時には、かけつけてもらえるようにしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	基本理念にも掲げているが、常に人生の先輩として敬い、慈愛の心をもってケアに当たっている。	話しかける時のことば使いに気をつけながら、さりげなく手助けをして、利用者がのびのびとすごせるように努めている。利用者のプライバシーにかかわることは職員が対一で対応するなど、利用者の自尊心が傷つかないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	様々な場面で選択の機会を持てるように配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々特別な事をするのではなく「、～しよう」という言葉を引き出せるように環境の整備に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容サービスを利用しているが、かかりつけの美容室でパーマや白髪染めなどの送迎もしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度や後片付け等積極的に参加してもらっている。 献立リクエストも受付(おやつ含む)、取り入れている。	利用者が食べたいものを取り入れながらメニューを決めている。一人ひとりにあわせて、食材の固さを調整したり、嫌いなメニューを変更したり、食事を楽しめるように工夫している。食欲が増すように、盛り付けにも気を配っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取量は常に記録し、足りない部分は補えるようにしている。 また個別に刻みやトロミ等の対応もしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、居室にて口腔ケアをしている。 状態に応じて、お手伝いしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	尿意・便意が鈍くなっても、声掛けや誘導で失禁を減らすよう取り組んでいる。 おむつ使用で入居された方も、リハビリパンツに切り替えて柔軟に対応している。	基本は個人の尿意・便意に合わせて見守りをして いる。レクリエーションに夢中になり我慢してしま うこともあるので、時間を見て誘導し排泄してもら うようにしている。失敗した時、衣類等を交換する 時、大丈夫ですよと優しく丁寧に対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫 や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り 組んでいる	排便観察や記録により状態を把握し、便秘になら ないように配慮している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽 しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決め てしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的には入浴の曜日は決まっているが、希望が あればシャワー浴等に対応している。(夏場)	利用者の希望に合わせて入浴できるようにして いる。シャンプーやボディソープなどお気に入りの ものを使ってもらい、楽しく入浴できるようにし ている。嫌がる方には、無理強いしないで、会話 の中で上手にお風呂に誘導し入ってもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、 休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援 している	夕食後はなるべくゆったりとした時間を過ごして もらい、 自然な入眠につながるよう個々に対応している。 無理に寝かせるようなことはしない。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	服薬ファイルを作成し、職員全員が把握できるよ うにしている。 担当責任者を置くことで、状況を確認し医療機関と の円滑な連携に繋げている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽し みごと、気分転換等の支援をしている	趣味や特技を發揮できる環境を整え、いきいきと活 動できるようにしている。 リクレーションや、あるいは仕事として雑巾縫いや 家庭菜園、草引きなどもしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出か けられるよう支援に努めている。又、普段は行けな いような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけるように支援して いる	積極的に散歩や近所の商店へ出かけ、地域の方 との交流が持てるようにしている。	季節やその時々状況に応じて、外出支援をし ている。例年は、季節を感じてもらえるよう、お花 見・紅葉狩りや外食に出かけたりしている。外出 するときは、トイレの形態など事前に下見し、安 心・安全に出かけるようにしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は難しい場合も多いが、可能な限り買い物時の支払い等を行ってもらう。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話の取次ぎや、切手購入やポストの投函等のお手伝いをしている。 携帯電話の持ち込み使用もある。</p>		
52	(19)	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>多種多様な活動が出来るよう、用途に応じて場所(空間)を使い分けている。 季節のお花を飾ったりしている。</p>	<p>小上がりのこたつのスペースを含め三か所で気の合う方同士で過ごしている。職員が定期的に湿度や温度の管理をしている。感染症対策は、マニュアルを作成し、マスク・手洗い・アルコール消毒・大型の空気清浄機を2台設置している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>小上がりのこたつスペースを含め3か所に分かれることができるため、それぞれが気の合ったもの同士で楽しむことができる。</p>		
54	(20)	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切に本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている。 (グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている。</p>	<p>居室は自らの愛用品等を持参してもらい、家族の写真や飾り、作品を飾ったりしている。</p>	<p>プライバシーを守り、お花の好きな人には職員が、時々自宅の庭の花を摘んで来て一緒に飾ったりしている。衣替えは、家族や部屋担当の職員が行っている。お掃除は、職員と一緒にいき、月二回は環境整備として、大掃除を行っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーは勿論のこと、トイレの表示や居室入り口の目印など、自分で行動できるよう配慮している。</p>		